

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長 石黒 知美		
健福-43	実施事業	がん検診事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進	

1 事業の目的

対象	検診対象年齢に達した市民
意図	がん等の早期発見・治療のため。
効果	がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに、医療費の抑制につなげる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん、肺がん(40歳以上)、胃がんリスク検診(40歳以上)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳~38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)、前立腺がん(50歳以上の男性)の検診を実施した。 ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20歳)、乳がん(40歳)の検診を無料で実施した。(無料クーポン券検診)

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	310,806	335,123	当初予算(千円)	411,874			
	国県支出金	624	10,030	国県支出金	636			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	0	その他	0			
	一般財源	310,182	325,093	一般財源	411,238			
	人員配置数	3.6	4.3	人員配置数	4.3			
事業運営	人件費(千円)	27,934	33,244	人件費(千円)	33,737			
	総事業費(千円)	338,740	368,367	総事業費(千円)	445,611			
	市民1人当りの経費(円)	1,915	2,087	市民1人当りの経費(円)	2,527			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成29年度に前立腺がん検診の実施にあたり予算規模を拡大したが、平成30年度は変更がないため、現状維持とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平成29年度から前立腺がん検診を導入し、予算規模が拡大したが、平成30年度は変更がないため現状維持とした。また、国の動向をみながら、次年度以降もがん検診の内容について検討し、受診率向上のために周知を図っていく。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 受診率向上のため、引き続き、鎌倉市医師会と、受診しやすい環境を整えるための協議、検討を行っていく必要がある。 平成29年度新たに導入する前立腺がん検診の受診状況等を確認しつつ、今後のあり方を検討していく。 	
課題解決のために行った平成29年度の取組	平成29年度から、50歳以上の男性を対象に前立腺がん検診を導入するにあたり、鎌倉市医師会と協議・検討し、受診体制を整えた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 受診率向上のため、引き続き、鎌倉市医師会と、受診しやすい環境を整えるための協議、検討を行っていく必要がある。 健診を受診することでポイントを付与するなどICT健康づくり事業と連携しながら、市民が健康づくりに関心を持てるよう推進していく。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	胃がんリスク検診実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	○	○	×	○	○				
	平成27年度～	平成26年度～	バリウム・内視鏡	平成27年度～	平成24年度～				

比較事項	前立腺がん検診実施の有無								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	○	○	×	○	○				
	平成29年度～	平成22年度～		平成13年度～	平成13年度～				

比較事項	がん検診の種類(大腸、肺、胃、子宮、乳+α)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横須賀市				
他市実績	6種類	6種類	6種類	6種類	6種類				
	前立腺	前立腺	口腔	前立腺	前立腺				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	胃がんリスク検診、前立腺がん検診ともに、厚生労働省が定める国の指針にない検診だが、近隣市でも実施している。鎌倉市においても、がんの早期発見・早期治療につなげるため、今後も実施していく。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	胃がん(H26年度)及び胃がんリスク(H27年度以降)検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)					単位	%	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			目標値は、国が目標としているがん検診受診率
平成27年度からリスク検診を実施。受診率の推移を把握し、リスク検診導入の効果を確認するため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値	8.6	32.3	13.5	10.5					
	達成率	17.2%	64.6%	27.0%	21.0%					

指標の内容	乳がんマンモグラフィ検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			目標値は、国が目標としているがん検診受診率
女性がんのうち、がん発見数が多い乳がん検診の受診率向上に努めるため。	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0			
	実績値	25.1	24.9	25.7	24.9					
	達成率	50.2%	49.8%	51.4%	49.8%					

指標の内容	前立腺がん検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			目標値は、国が目標としているがん検診受診率
平成29年度から前立腺がん検診を実施。受診率の推移を把握し、導入の効果を確認するため。	目標値	-	-	-	50.0	50.0	50.0			
	実績値	-	-	-	35.2					
	達成率	-	-	-	70.4%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	胃がん検診は、平成26年度までX線(バリウム)検査による胃がん検診を実施していた。しかし、X線撮影は、受診者の身体への負担が大きく、他のがん検診に比べ受診率も低かったため、平成27年度から採血検査によるリスク検診を導入した。平成28年度の受診率は、リスク検診を導入した平成27年度よりも減少したが、X線(バリウム)検査を実施していた平成26年度よりも高く、がん発見者数も平成26年度に比べ倍増しており、リスク検診を導入した効果があったと考えている。 平成28年度の乳がん検診は、前年度よりも受診率が微増程度に留まったが、がん発見数が多いため、今後も受診率向上に努めていく必要がある。平成29年度に導入した前立腺がん検診は、引き続き、受診率の推移を把握し、効果を検証する必要がある。
-----------------------	---